

広島県がん対策推進協議会 第4回計画策定会議（議事録要旨）

1 日時 平成20年3月14日（金）18:00～19:10

2 場所 県庁北館2階 第1会議室

3 出席委員

氏名	所属及び役職名	氏名	所属及び役職名
井内 康輝	広島大学大学院教授	井上 等	がん患者支援ネットワークひろしま理事
鎌田 七男	原爆被爆者援護事業団理事長	河野 修興	広島大学医学部長
迫井 正深	広島県福祉保健部長	高杉 敬久	社団法人広島県医師会副会長
榎原 啓之	広島大学大学院臨床腫瘍学教授	福水 美恵	社団法人広島県看護協会副会長
本家 好文	県立広島病院 緩和ケア支援センター長	弓削 孟文	県がん診療連携協議会議長(広島大学理事)

4 議題 広島県がん対策推進計画（最終案）について

5 担当部署 広島県福祉保健部保健医療局医療対策室医療支援グループ

電話（082）513-3063（ダイヤルイン）

6 会議の内容

広島県がん対策推進計画（最終案）について

- 平成20年度からはじまる肝炎に対するインターフェロン治療の医療費助成について、この計画でも記載すべきではないか。（⇒記述を追加する）
- 緩和ケアに関する普及啓発の項目に記述されている「介護保険制度の周知」についての説明は、在宅療養支援体制の整備に記載すべきではないか。（⇒指摘のとおり修正する）
- その他、資料編について修正意見（表示単位の記載(51頁)、用語集の修正(49～50頁)あり
- これら以外に特に大きな修正意見はないため、「広島県がん対策推進協議会」として、この「広島県がん対策推進計画（最終案）」を決定する。

広島県がん対策推進計画概要版（案）について

- 広く県民に周知するためのパンフレットとしては、情報量が多く読みにくい。目標数値などはないほうがすっきりする。代わりに「がんを防ぐための12か条」を大きく載せるべき。
- がんの早期発見について「5年生存率に差が生じる」というようなことではなく、「早く見つければ助かります」というような分かりやすい表現で示すべき。
- 市町のがん検診の受診率など現状の数値については、このパンフレットが5年間使用されることも踏まえ、誤解のないような表現としたい。

（⇒ 各委員の意見を踏まえて事務局において修正することとした）

7 会議の資料名一覧

資料1 広島県がん対策推進計画（最終案）

資料2 広島県がん対策推進計画 概要版（案）

資料3 広島県がん対策推進計画（案）に対する意見と対応について

資料4 平成20年度の広島県のがん対策関連事業